
満天の星空

夕原あかね

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

満天の星空

【Nコード】

N6599C

【作者名】

夕原あかね

【あらすじ】

満天の星空の元、僕の一つの発見の物語

君はいつも笑っていた。

満面の笑顔で。それは、決して僕だけのものじゃないってことは、よく分かっていた。

でも、いつも一緒にいると、とても嬉しくて。この感情は何なのだろう。

まるで、本当に僕がもう一人抜け出たみたいに、僕とそっくりだった君。

外見も、感情も、趣味も、何もかも。

僕が転びそうになると君が支えてくれて、君が落ちそうになると、僕が助けて。

二人で支え合って、二人で欠陥を埋めていって、二人で完璧な僕《きみ》

生まれたときから二人だった、ずっと二人だったのに……………
…

僕《きみ》が一人いなくなった。

大切な支えを失って、欠陥を埋める穴がなくなって、落ちそうになっても、すぐ助けてくれるものはいなくて……
今の僕《きみ》は穴だらけのレンコン。

ぼろぼろの使えない僕《きみ》は、一人満天の星空の元、横たわる。

ふと気がつく。

この完璧なまでに美しいものは、どうやって出来たのだろうか。
ただ広くて、暗い空の中、星達がきらめく。

……あのきらめく星達は、すべての人たち。

沢山のひと、巡り会って、星を増やす旅に出る。でも、空は一つだけ……

僕をもっとも輝かせた星の君は、もう居ない。

でも、いつか、巡り会う中で、様々な人と、街と、自然と、そして、僕も知らない別の君とも出会っていく……

満天の星空の元、僕《きみ》は今、僕自身になる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6599c/>

満天の星空

2010年12月30日23時59分発行